

## 平成31（令和元）年度 第2回市立小諸図書館協議会 議事録

日時 平成31年6月20日（木）午後1時30分～午後3時30分

場所 市立小諸図書館 ひだまりのひろば

出席者

〈 委員 〉

星野郁雄会長 関口留美子副会長 畑明美委員 小宮山勝彦委員 加部美和子委員

〈 小諸市教育委員会 〉

安藤貴正文化財・生涯学習課長 鈴木一枝文化財・生涯学習課係長 掛川裕介文化財・生涯学習課主任

〈 市立小諸図書館 〉

土屋裕一館長 運営一部業務受託者特定非営利活動法人本途人舎業務責任者大林晃美

### 1. 開会

### 2. あいさつ

星野会長あいさつ

運営が変わった中で、一緒に盛り上げていきたい。今年度はいつもより回数を多く協議会を設けている。その中では、職員とも懇談する機会を設けて現状を聞きながら、力になっていきたい。

安藤課長あいさつ

本途人舎と密に連絡をとりあって進めていきたい。

### 3. 協議事項（議事進行 星野会長）

#### （1）第4次子ども読書活動推進計画策定にむけて

第1回ワークショップ（6月18日）報告 【資料1】

●小学校の頃、ふろく漫画を持って行って怒られた思い出がある。漫画の中にもドラマが表現されている。中学校の頃、先生の影響で「次郎物語」を読んだ。「かいけつゾロリ」等を読んでいるのはどのくらいの年代なのか？日頃、子どもと話しをしたり、関わっている。読み聞かせをすると「おもしろかった！」と言って帰っていく。

●読書の入口は幅広いほうがいい。特定の本を「これは良くて、これは良くない」といつて制限をしていくことは根っことして怖いことだと思う。横と縦の連携が必要だと思う。第1次、第2次の時から「種まき」はしてきた。「種まき」で足踏みをしているような状況だと思う。0歳～幼稚園、保育園、小学校低学年くらいまでが種まきで、中学年・高学年で目が出て育てて、中・高校で花を咲かせるようなイメージだと思う。どうやって「種まき」をするのか、育てるのか、そこに連携が必要ではないか。図書館に足を運んでもら

うことが大切。たとえば、他の地域ではコンサートや歌舞伎までもが小学生は無料で見ることができる取り組みがある。敷居を低くすることは大切。今までの協議会は、報告を聞くだけだった。昨年度は運営について話をしてきたが、決められた時間の中で消化不良だった。

「協議」をしていきたい。小学校の昇降口の扉に図書館の広報チラシを貼るとか、愛のりくんの車内に貼るとか、図書館を知ってもらうことが必要ではないか。

●ブックスタートのボランティアをやっている。赤ちゃんはよく聞いている。親に差がある。広報は難しい。毎年1回「こどもフェスタ」というイベントをやっていて幼稚園・保育園、子ども支援センター等何千枚と配布しているが、来る人は限られている。

●「ゾロリのその先へ」というのは、学校図書館の役割でもある。子どもたちは薦めると手に取る。大人に薦められる機会がないと手に取らないのではないか。大人の側の意識改革も必要。おもしろいから読まれている。

●子ども支援センターは、親子連れでたいへんにぎわっている。市立小諸図書館の本も置いてあるが、読まれていない。本を読む姿があまり見られない。

## (2) 図書館友の会（仮）発足について

第1回交流会（6月16日）報告と勉強会について（大林）

交流会には16名が参加。現在申し込みは25名。

自己紹介を兼ねて、それぞれがやりたいと思っていること、図書館への思いなどを情報交換した。「友の会」という名称もまだ仮。やっとなら顔合わせをして、これから少しずつ進んでいく予定。「友の会」は、ボランティアの会ではなく、一緒に図書館を育てていくための市民の会。今年度は、勉強会として9月16日に岡本真氏（アカデミックリソースガイド代表取締役）を招いて講演をしてもらう。多くの方の参加をお願いしたい。

## (3) 平成30年度資料貸出詳細統計と今年度の購入傾向（大林） 【資料2】

統計を基に、選書委員で分析し、需要はあるのに購入の足りていなかった資料等を共有し今年度の選書に活かしていきたい。

●選書はたいへんな作業だと思う。10人くらいでやったらどうか。

④現在は3人で毎週選書を行っている。いただいたリクエストに対してお断りしなければならないときもあり、選書委員が責任をもって選書している。いろいろな視点は必要だと考えている。可能性として、選書に参加できる機会を設けていくことも考えられる。

●どこかの図書館で読書通帳を、図書館で借りた本の代金を貯めていく通帳があった。目からウロコだった。

## (4) 図書館運営についての意見交換

●ほぼ毎日図書館に来ているが、来館者が減っているように感じる。

④平日の昼間は落ち着いた日が多いとは感じている。ただ、毎年4月5月は子どもたちも新しい環境の中で図書館利用が落ち込む時期。昨年度比では来館者・利用者ともに微増。

●数字でわかる面もあるが全てではないと思う。

●「来館者数」といっても、図書館本来の目的で来る人もいれば、ふらりと立ち寄っただけの人もいる。「図書館に行って何か調べよう」という人が増えるとうれしい。

●木曜日の休館の時に、外から図書館を覗いている人を見かける。休館の時は外にむけて図書館のアピールをしたらどうか。

●新刊のコーナーが地味。新刊のアピールもしてほしい。

●エコの観点からクールシェアスポットの取り組みもこれからは大事になってくる。もっと図書館でやっていることのアピールをしたほうがいい。職員の資格もアピールするといいたいと思う。

●不登校の子の居場所づくりに関わっている。図書館も昼間の居場所になってくれるとありがたい。

●3月までと運営が変わった4月からと、スムーズに流れているか？

●今は軌道に乗せることが大事。その後にプラスアルファを考えればいいのではないか。

④日々の仕事の流れは変わらない。それぞれの事業のスピード感は増しているように感じている。追われている感じはある。まだ手探り状態ではある。

#### 4. その他

次回の予定

9月13日（金）13：30～

交流センター会議室4

#### 5. 閉会